

先を見据えた確かな歩みを

稲沢市長

加藤錠司郎

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、稲沢市は市制60周年を迎えました。この節目に、テレビの公開番組の招へいや市民提案事業への補助など、さまざまな記念事業を行い、全市的な盛り上げを図ってまいりました。また、市政全般の最上位計画である『稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）』がスタートしました。今年も、「ステージアップ 稲沢」をスローガンに、「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」「名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」を目指し、行政の各分野における取り組みをより一層進めてまいります。

さて、情報化社会が急速に進展する中、市の情報をタイムリーに発信するため、1月下旬に市ホームページを一新しスマートフォンにも対応したものへとリニューアルします。併せて、子育て応援ウェブサイトを新設し、2月中旬にはスマートフォンの子育て応援アプリ「すくすくいなッピ」を導入するなど、「子育て・教育は稲沢で！」の実現のため、子育て環境の整備を進めてまいります。小・中学校の空調設備（エアコン）については、中学校への設置が間もなく完了し、小学校への設置は、昨年の猛暑を受け予定より前倒しし、平成31年度中に実施いたします。

また、名古屋圏における本市の存在感向上に向け、名鉄国府宮駅周辺再整備の基本計画案を策定していく他、東西幹線道路の整備促進に向けた取り組みも進めてまいります。

さらに、美濃路の雰囲気を感じられる（仮称）美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの整備、さらなる企業誘致や雇用拡大を図る第2期平和工業団地開発事業など、市の魅力・活力を増進させる施策を進めてまいります。

今年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の前年に当たります。本市は、姉妹都市オリンピア市のあるギリシャ共和国の「ホストタウン」に登録されており、昨年は事業の一環として、歴代のオリンピック聖火トーチなどの展示会を開催しました。今後も、文化・スポーツ交流などを実施し、地域の活性化を図るとともに、大会への機運を高めてまいります。

結びにあたり、今年が皆さまにとりまして、健康で喜びと幸福に満ちた年となりますことを祈念いたします。

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

日ごろから本市議会の活動に対して、ご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

稲沢市は、これまで明治、昭和、平成の大合併を経て、市域を広げてまいりました。歴史深いまちに、祖父江町の黄金色に輝くイチョウ並木や雄大な母なる川「木曾川」、平和町の桜ネットワークスや織田信長生誕の地「勝幡城」などが加わり、文化が薫り名所あふれる地となっています。この恵まれた地域の特色を生かせるよう、昨年スタートしました『稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）』を着実に進める必要があります。そのために、議会はチェック、チェンジ、チャレンジを行い、魅力と活力あるまちづくりに取り組んでおります。

一方、人口減少や少子高齢化が急速に進行し、住民ニーズも多様化している中、先行きが不透明な時代でもあります。2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますので、オリンピック市と姉妹都市として締結した縁によるPRを行い、本市の知名度向上を図ってまいります。

本年は、平成27年に審判を受けました議員として、総括の年を迎えます。9月には稲沢市議会議員選挙が予定されており、新たな市議会が構成されますが、稲沢市がさらに高い次元に進むよう、市民の皆さまにとって身近で、信頼と負託に応える議会を目指します。

多くの課題に全身全霊で取り組み、議会改革を推進する決意でございますので、今後も温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆さまにおかれましても素晴らしい一年になりますよう心から祈念しまして、年頭のあいさつといたします。

信頼に応える議会を目指して

稲沢市議会議長

長屋宗正



新年の